

平成21年8月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成21年7月9日

上場会社名 株式会社 三栄建築設計
 コード番号 3228 URL <http://www.san-a.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小池 信三
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 吉川 和男
 四半期報告書提出予定日 平成21年7月14日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 名

TEL 03-3395-3591

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年8月期第3四半期の業績(平成20年9月1日～平成21年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年8月期第3四半期	21,483	—	1,318	—	1,121	—	564	—
20年8月期第3四半期	16,149	34.9	1,322	△6.6	986	△9.4	529	△12.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年8月期第3四半期	23,888.81	—
20年8月期第3四半期	22,375.68	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年8月期第3四半期	17,923	6,073	33.9	256,828.32
20年8月期	22,183	5,591	25.2	236,439.51

(参考) 自己資本 21年8月期第3四半期 6,073百万円 20年8月期 5,591百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年8月期	—	—	—	3,500.00	3,500.00
21年8月期	—	—	—	—	—
21年8月期(予想)	—	—	—	4,000.00	4,000.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年8月期の業績予想(平成20年9月1日～平成21年8月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,037	8.3	2,535	10.0	2,109	12.7	1,139	11.3	48,183.49

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年8月期第3四半期	23,647株	20年8月期	23,647株
② 期末自己株式数	21年8月期第3四半期	—株	20年8月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	21年8月期第3四半期	23,647株	20年8月期第3四半期	23,647株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性があります。この影響のため、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期会計期間におけるわが国経済は、世界的な金融不安の深刻化から企業収益の低迷等の実態経済の悪化といった悪循環がさらに強まり、急速に景気後退が進みましたが、世界的な景気対策により在庫調整圧力が低下し、景気が下支えされることで、対外経済環境は次第に改善しつつあります。しかしながら、生産活動においては未だ低い水準にあり、先行きの雇用情勢に対する不安等により、一旦収まりを見せている金融危機の影響や世界景気の下振れ懸念は依然として留意する必要性が大きく残っております。

当社の属する不動産業界におきましては、昨年からの住宅販売価格の下落による効果と、平成21年に入り新しい住宅減税の見通しが明確になってきたことにより、顧客の住宅購入におきましては、分譲マンションは依然として厳しい状況であるものの、新築戸建住宅に対する購入意欲は改善する兆しが伺えます。また、新たな住宅購買層としてポスト団塊ジュニア世代の需要が加わり、幅広い世代において購買意欲が感じられます。

このような環境の下、当社は、仕入の厳選をすると同時に、原価及び販売管理費の削減の努力を重ね、オンリーワンの家づくりによる都市型ビルダーとしてのブランドを構築してまいりました結果、当第3四半期会計期間におきましても、販売契約件数は、各月とも対前年同月を上回り、販売においては順調に推移しました。利益の状況におきましては、在庫の早期売却を積極的に進めたことから、地価下落の影響を受けた長期在庫がなくなり、収益率が回復してまいりました。このような結果、当第3四半期会計期間の売上高は9,011百万円、営業利益は916百万円、経常利益は861百万円、四半期純利益は451百万円となりました。

事業の部門別の業績は、次のとおりであります。

①不動産販売事業

不動産販売事業におきましては、在庫の早期売却を積極的に進めたことから、地価下落の影響を受けた長期在庫がなくなってきたこと、及び会社理念に基づきオンリーワンの家づくりを基本として事業を行ってきたことが支持されていることにより、収益率が回復してまいりました。

以上の結果、全店で販売件数224件となり、売上高は8,553百万円、売上総利益は1,277百万円となりました。

②賃貸収入事業

賃貸収入事業におきましては、現在所有している物件の管理を引き続き徹底することにより、売上高は順調に推移しました。

その結果、売上高168百万円、売上総利益は111百万円となりました。

③不動産請負事業

当期より従来の事業に加え、注文住宅等に伴う不動産請負事業を行っております。

第3四半期会計期間は22件の売上となり、売上高289百万円、売上総利益は59百万円となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ4,259百万円減少し、17,923百万円となりました。これは主に、販売が好調であること及び用地仕入を厳選していることにより、たな卸資産が4,973百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前事業年度末に比べ4,741百万円減少し、11,850百万円となりました。これは主に、用地仕入に伴う短期借入金が3,877百万円減少したこと、及び未払法人税等が101百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べ482百万円増加し、6,073百万円となりました。これは主に、当第3四半期累計期間の四半期純利益564百万円を計上したことにより、利益剰余金が増加したことによるものであります。

当第3四半期会計期間末における「現金及び現金同等物」(以下、「資金」という。)は、第2四半期会計期間末に比べ、1,865百万円増加して3,161百万円となりました。

当第3四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に、四半期純利益が824百万円増加したこと、及びたな卸資産が3,463百万円減少したことにより、4,385百万円の資金の増加となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に、有形固定資産の取得による支出が27百万円増加したことにより、31百万円の資金の減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に、用地仕入等に伴う長短借入金の借入額1,978百万円を、物件売却による長短借入金の返済額4,440百万円及び社債の償還による支出26百万円が上回ったことにより、2,488百万円の資金の減少となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、現時点では、平成20年10月10日公表の業績予想に変更はございません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 固定資産の減価償却費の算出方法

定率法を採用している資産については、当事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 「四半期財務諸表に関する会計基準」等の適用

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、個別法による原価法によっておりましたが、第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)が適用されたことに伴い、個別法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算出しております。

これによる損益に与える影響はありません。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年5月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,161,293	2,287,012
受取手形	10,000	—
売掛金	12,078	11,700
販売用不動産	3,851,008	5,071,680
仕掛販売用不動産	5,251,717	9,004,824
その他	284,579	403,575
貸倒引当金	△3,196	△1,515
流動資産合計	12,567,479	16,777,278
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,695,235	2,747,675
減価償却累計額	△390,197	△311,730
建物(純額)	2,305,037	2,435,945
土地	2,432,085	2,346,370
その他	100,333	49,541
減価償却累計額	△43,574	△34,544
その他(純額)	56,758	14,996
有形固定資産合計	4,793,882	4,797,312
無形固定資産	333,461	402,733
投資その他の資産	228,746	205,740
固定資産合計	5,356,090	5,405,786
資産合計	17,923,570	22,183,064
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,161,034	2,288,829
短期借入金	4,489,500	8,366,650
1年内返済予定の長期借入金	722,062	856,872
1年内償還予定の社債	304,000	194,000
未払法人税等	431,467	532,647
賞与引当金	51,987	88,808
その他	619,928	268,734
流動負債合計	8,779,979	12,596,541
固定負債		
社債	1,040,000	1,273,000
長期借入金	1,691,153	2,393,001
退職給付引当金	40,849	31,916
役員退職慰労引当金	194,903	188,178
その他	103,465	109,342
固定負債合計	3,070,371	3,995,437
負債合計	11,850,351	16,591,979

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年5月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	529,285	529,285
資本剰余金	427,800	427,800
利益剰余金	5,116,133	4,633,999
株主資本合計	6,073,219	5,591,085
純資産合計	6,073,219	5,591,085
負債純資産合計	17,923,570	22,183,064

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成20年9月1日 至平成21年5月31日)
売上高	21,483,648
売上原価	18,852,311
売上総利益	2,631,336
販売費及び一般管理費	1,312,842
営業利益	1,318,494
営業外収益	
受取利息	1,326
解約手付金収入	11,400
その他	27,987
営業外収益合計	40,714
営業外費用	
支払利息	200,528
その他	37,359
営業外費用合計	237,888
経常利益	1,121,320
特別損失	
減損損失	104,345
特別損失合計	104,345
税引前四半期純利益	1,016,974
法人税、住民税及び事業税	526,021
法人税等調整額	△73,945
法人税等合計	452,075
四半期純利益	564,898

(第3四半期会計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年5月31日)
売上高	9,011,720
売上原価	7,562,437
売上総利益	1,449,283
販売費及び一般管理費	533,206
営業利益	916,076
営業外収益	
受取利息	111
解約手付金収入	2,400
その他	12,966
営業外収益合計	15,477
営業外費用	
支払利息	52,454
その他	17,379
営業外費用合計	69,833
経常利益	861,720
特別損失	
減損損失	37,656
特別損失合計	37,656
税引前四半期純利益	824,064
法人税、住民税及び事業税	426,768
法人税等調整額	△54,263
法人税等合計	372,504
四半期純利益	451,559

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 平成20年9月1日 至 平成21年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	1,016,974
減価償却費	97,191
減損損失	104,345
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,680
賞与引当金の増減額(△は減少)	△36,820
退職給付引当金の増減額(△は減少)	8,933
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,725
受取利息及び受取配当金	△1,326
支払利息	200,528
売上債権の増減額(△は増加)	△10,377
たな卸資産の増減額(△は増加)	4,973,779
前渡金の増減額(△は増加)	118,153
仕入債務の増減額(△は減少)	△127,794
その他	323,302
小計	6,675,294
利息及び配当金の受取額	1,326
利息の支払額	△195,418
法人税等の支払額	△620,917
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,860,285
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△13,026
定期預金の払戻による収入	169,140
有形固定資産の取得による支出	△107,586
無形固定資産の取得による支出	△20,908
投資有価証券の売却による収入	21,300
その他	12,421
投資活動によるキャッシュ・フロー	61,342
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	6,235,600
短期借入金の返済による支出	△10,112,750
長期借入れによる収入	1,288,459
長期借入金の返済による支出	△2,126,064
社債の償還による支出	△123,000
配当金の支払額	△82,592
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,920,346
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,001,281
現金及び現金同等物の期首残高	2,160,012
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,161,293

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期損益計算書

前第3四半期累計期間(平成19年9月1日～平成20年5月31日)

科目	前年同四半期 (平成20年8月期 第3四半期)
	金額(千円)
I 売上高	16,149,901
II 売上原価	13,678,245
売上総利益	2,471,656
III 販売費及び一般管理費	1,149,587
営業利益	1,322,068
IV 営業外収益	17,600
V 営業外費用	353,170
経常利益	986,498
税引前第3四半期純利益	986,498
法人税、住民税及び事業税	437,459
過年度法人税等	11,768
法人税等調整額	8,153
第3四半期純利益	529,117

(2) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

前第3四半期累計期間(平成19年9月1日～平成20年5月31日)

	前年同四半期 (平成20年8月期 第3四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前第3四半期純利益	986,498
減価償却費	86,058
貸倒引当金の増加額	2,643
賞与引当金の増加額	32,671
退職給付引当金の増加額	8,360
役員退職慰労引当金の増加額	6,575
受取利息及び受取配当金	△1,820
支払利息	310,695
デリバティブ評価損益	△5,673
売上債権の増加額	△3,012
たな卸資産の増加額	△3,838,913
前渡金の増減額	99,700
仕入債務の増加額	270,048
未払金の増加額	20,215
前受金の増加額	75,106
預り敷金保証金の減少額	△75
未収消費税等の増加額	86,300
その他	△94,574
小計	△1,959,195
利息及び配当金の受取額	1,820
利息の支払額	△278,109
法人税等の支払額	△918,904
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,154,389

	前年同四半期 (平成20年8月期 第3四半期)
区分	金額(千円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△27,044
定期預金の払戻による収入	18,044
有形固定資産の取得による支出	△634,114
無形固定資産の取得による支出	△16,647
その他	△9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△659,772
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	12,365,250
短期借入金の返済による支出	△9,028,845
長期借入れによる収入	2,716,400
長期借入金の返済による支出	△2,784,192
社債の償還による支出	△303,000
配当金の支払額	△82,515
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,883,096
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	—
V 現金及び現金同等物の増加額(又は減少額)	△931,064
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,917,367
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	986,303